

## 平成30年度 学校関係者評価報告書

NO. 中13

市川市立大洲中学校

		確かな学力	豊かな心	健やかな体	信頼される学校
1	実施重点	「主体的・協働的に学習に取り組み、自ら考える生徒の育成」～わかる・できる授業、考える授業を作っていこう～	道徳教育、福祉教育の推進	健康を維持する意識を向上させる 保健委員会の活動の活性化 安全指導	保護者との連携および地域社会との連帯に取り組む。
2	現状と課題	I C T機器の数が限られており、活用が特定の教科に集中している。また、より効果的な活用法について研鑽を積む必要がある。	学区小学校に特別支援学級がないため、特に豊かな心の育成、いじめの未然防止に取り組み、共生社会の実現に向け道徳教育に積極的に取り組んでいる。	プールや持久走の授業の見学がやや増加気味である。自分の体に関心を持ち、すすんで体を動かす生徒を増やすため、体を動かす取組を継続する。	H Pの更新を積極的に行い、学校の情報を随時公開するよう努めた。学校便りも内容を充実させた。
3	具体的な方策	・ I C Tの利活用の推進 ・ユニバーサルデザインを意識した教材教具の工夫 ・問題解決的な学習・学んだことを活用する学習・探究的な学習・体験活動・言語活動の充実	・福祉ポスターや福祉関連の書籍を置くなど福祉コーナーを設けた啓発活動 ・学年一斉道徳や学年内で持ち回りで道徳を行うなど実施方法の工夫	・保健委員会では鶴翔祭で生徒のアンケート結果、考察を発表し、健康について考える契機とした)安全について専門家から指導を受ける場を設ける。	・情報発信(週1回以上のH P更新。学校便りの内容充実)
4	達成状況 5:十分達成できた 1:全くできなかった	5・4◎3・2・1 ・教科、先生により授業理解度、満足度に差がある。先生方の創意工夫が必要です。 ・I C T機器の活用は不十分だが創意工夫に富んだ授業で学力向上につながっている。	⑤・4・3・2・1 ・登下校時によく挨拶する。 ・いじめの早期発見、対応、見守りを続けてください。 ・素直な生徒が多いと思います。 ・大洲中の良い生徒は校外においても良い。	5・④・3・2・1 ・規則正しい生活習慣に弱いところがある。 ・深夜型生徒の増加は家庭の問題です。積極的に身体を動かす機会を作っていると思います。	5・④・3・2・1 ・市川ふるさと祭りなど地域との連携に努力されている。 ・情報は可能な限り積極的に発信されていると思います。
5	学校への意見	・一部保護者の意見もあるが、自信をもって授業・部活等を進めてください。・先生方の自己評価と保護者のギャップ。把握と改善を。 ・学校側としての子供たちを思う気持ちを、保護者にはズバリと指摘してされますように、先生方の団結を。			
6	市教委への意見	・クリーングリーンマイタウン活動は地域、学校の連携で学区の清掃とはすばらしい。大洲中、大洲小、宮田小、各自治会の各組織との連帯感の向上、地域愛が生まれ、また中学生が実行委員となりリーダーとして活動することは素晴らしい。 ・先生方の長時間勤務の根底は提出書類の多さです。必要な物を絞り、負担軽減しないと実のある授業や授業準備が出来ないです。			